

WorkCAN's Beer Project

Thanks & Cheers !

発売への軌跡

～ワークショップの記録から～

2022年7月



生きている喜びを心から実感できるビール。
がんなどの様々な事情を抱える人たちが喜びを実感できるように。
コロナの中、不安を抱える人たちが生きていく喜びを取り戻せるように。

そんなビールを、
趣旨に賛同するWorkCAN'sのメンバーを中心に
社会の中で同じような思いを持つ人たちをさらに巻き込み、
サッポロビールのHOPPIN' GARAGEの枠組みを活用して、
一緒につくります。

2 目的

切実な思いを持ちながら生きる人たちに寄り添えるビールを当事者同士で一緒につくり、提供するプロセスを通じて、

- (1) 関わる人たちに、繋がり、一緒に進むことの喜びや心からのおいしさを実感してもらうことで、生きていく上での希望や安らぎを提供する。
- (2) 社会全体に新しい繋がりや創造のあり方を発信し、多様な人たちが率直に思いを語り合い、活力が生まれるような、よりよい社会づくりに貢献する。

WorkCAN's Beer Project



3 背景

(1) Can Starsの発足宣言から

私たちは、人生にはつらいことがあることを身をもって知っています。
でも、私たちは、生きることの素晴らしさも心から実感しています。
そんな私たちだからこそできることがあると信じています。
☆のもとに、がんを経験した社員の思いをつなげて。

Can Stars
2019年3月26日、スタートです。



上記はCan Starsの発足宣言だが、
最初の3行はWorkCAN'sのメンバーもきっと同じはず。
同じような思いの人をさらにつなげ、今回のビールづくりに活かしたい！

3 背景

(2) 「GANNOMI」(がん飲み) 実施の経緯から

- ・2019年6月、都内の銀座ライオンで開催した、がんサバイバーを中心とした飲み会「GANNOMI」は、参加者一同、ビールやソフトドリンクを手に、大変な盛り上がりとなった。
- ・「がんを経験すると『飲んじゃいけない』と思われて飲み会にも誘ってもらえなくなるけれど、がんを経験した人がお酒を飲みながらがんのこと、それ以外のことを楽しく語る場があってもいいじゃないか」と発案した社外のがんサバイバーたちから、場所取りの依頼を受けての開催だった。
 - ※当日は、「がん罹患後の飲酒の可否は主治医の判断に従ってください」の文言を掲示。
- ・当日の盛り上がりの模様はドキュメンタリー番組でも「がんで繋がる」の冒頭にも取り上げられ、視聴した多くのがんサバイバーに生きる喜びの一端を提供できたと受け止めている。



がんサバイバーが生きている喜びを分かち合うには、ノンアルコールでよいのかもしれない。
けれども、がんとお酒は一見結びつきにくく、遠ざけられがちな面もあるからこそ、
上記のことを踏まえて今回、生きている喜びを実感できる「ビール」をつくりたい思いがある。

WorkCAN's Beer Project

3 背景

(3) HOPPIN' GARAGE (ホッピンガレージ) の枠組みから

お客様との共創によるビールづくりを展開するサッポロビールの新しいビールブランドです。
魅力的な人々のストーリーをもとに多様性あふれるビールを生み出し、そのストーリーを味わいながら飲むという、
これまでにないビールの楽しみ方をお届けします。
既に10品以上の商品を生み出し、その新作ビールを2カ月に1回お届けする定期便サービスも展開中です。



フラッグシップビール
「ホッピンおじさんのビール」
(通年販売)



ストーリーをもとに誕生した数量醸造ビール



ビール醸造家の「ホッピンおじさん」が
世界を旅して、魅力的な人々と出逢い
ビールをつくるというストーリーで展開。

※YouTubeバナーをクリックすると
ホッピンおじさんのストーリーを視聴できます。

3 背景

(4) WorkCAN's (ワーキャンズ) について

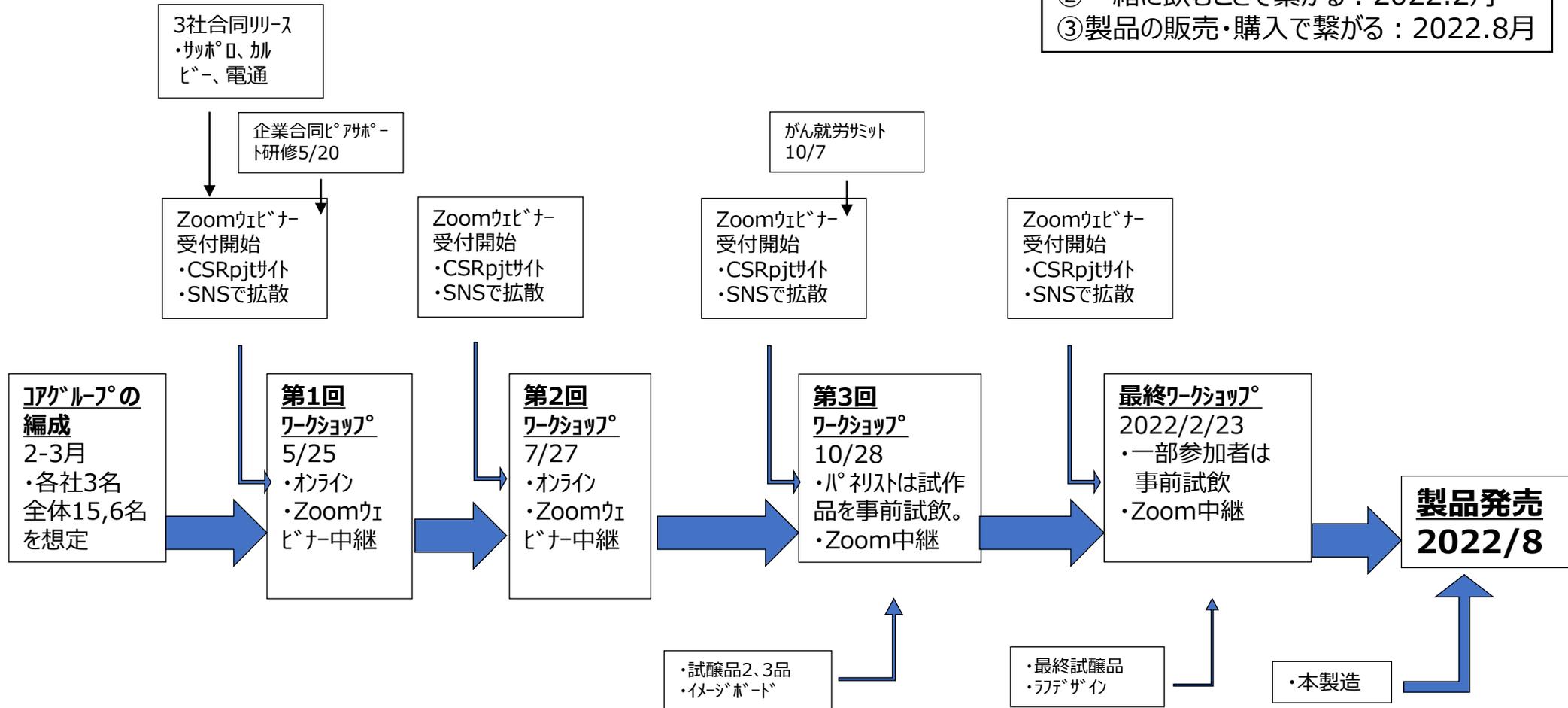
- ・「働くがんサババ」を表すと共に、一般社団法人CSRプロジェクト（*）を中心に企業等の有志が参加する「企業内ピアサポーターの育成の取組み」のことでもある。
- ・* CSRプロジェクトの「CSR」は「Cancer Survivors Recruiting」の略でがん患者の就労支援に取り組んでいる。
- ・入会規則等を伴う正式な組織体ではなく、同じ志を持つ仲間の部活動的な運動体。
- ・2020年9月には意気投合した4社で企業合同ピアサポート研修（*）を開催し、合同リリースも発信。
- ・2021年以降も一層多くの企業等を巻き込み、企業合同ピアサポート研修やアンコンシャス・バイアスをテーマにした発展形の「Be グッド・パートナーズ研修」を開催。
- ・今回のビールづくりは、社会的なイパ外からも、WorkCAN'sの課外活動として位置づけ、取り組むこととした。

WorkCAN's Beer Project



4 進め方の骨子

☆全体像



☆3つの「繋がる」を大切に進めます。
①一緒につくることで繋がる：5～10月
②一緒に飲むことで繋がる：2022.2月
③製品の販売・購入で繋がる：2022.8月

(1) パネリストの意見「こんなビールを！」

☆味

- ・人生のいろんなことを人よりちょっと多く経験しているのが私たち。そんな味を重たくなく軽やかに出せれば。
- ・優しい味わいの香りのいいものができれば。
- ・1杯空けてもう1杯と軽く飲めるのもよい。
- ・やっぱり苦み。ほろ苦さを。治療等のつらい思いと一緒に味わえ、「自分にご褒美」や「空のみんなにも乾杯」。
- ・誰でも人生は苦しく苦い出来事があるが、それを超えた時に訪れる爽やかな瞬間があるのが人生。苦さと爽やかさがあるビールを。
- ・いろんなことを味わいながら実感できるような飲みごたえ。味わいのビール。

☆香り

- ・ふわっと来る香りがいい。鼻から脳につながるような香りがあるといい。
- ・香りは大事。お酒に強くない人が楽しめることが大事。
- ・グラスに注いでふわっと立ち上がるような香りがいい。
- ・香りはすごく大事。個人的には柑橘系の香りが好き。ライム系がよい。開けた時の香りは忘れない。
- ・華やかな香りのビールが好き。ホップが香る爽やかな香りがくせになる。

☆ノンアル

- ・ノンアルがよいという人もいるかもしれないが、私はとにかくビールが大好き。爽やかな香りがするビールがいい。
- ・最初はノンアルと思ったが、ノンアルならみんなと一緒につくらなくてもよい。どうせつくるなら、しっかりとしたビールをつくりたい。

☆バラエティ

- ・いっそのこと、味わいの違う2種類のビールをつくっちゃうのはどうですか。例えば、ひとつは香り重視でアルコール分3%くらいの色が薄いビール。もう一つは苦み重視でアルコール分が6%くらいのちょっと色が濃いビール。それぞれで飲んでも美味しいし、2つを合わせると王道ピルスナーに変身しちゃう・・・なんて。多様な感じでしょうか。

☆容器・付属物

- ・「500缶も」と思ったが、2本飲めばよい。
- ・缶にメッセージを入れ、みんなのいろんな思いを散りばめ、それぞれの思いを味わえるように。
- ・今は飲めない人や空の上の人へのメッセージも冊子に入れられるのでは。
- ・冊子や缶へのメッセージ、ラジオやオンラインの表現の場もあるので、うまく活用してもらえるとよい。

☆飲用シーン

- ・家で休みの日にゆっくり飲めるようなビールを。・休みの夕方や夏場に飲みたい。
- ・金曜日に1週間の仕事が終わって飲む爽快感はたまらない。
- ・治療が終わった後の初めての1杯は苦さと共にうまさを感じた。そんなビールを皆さんとつくりたい。
- ・単純に風呂上りに飲んで「ああ、嬉しい」というのも生きている喜び。
- ・いろいろな人と、あるいは一人で「頑張ったな」という時に飲むのもよい。
- ・手術後にいつから飲めるかと思い、2週間前に飲んだ1杯はすごくおいしかった。
- ・朝日を浴びて鳥の鳴き声を聞くと「今日も一日いけそうだな」と思う。朝からぐびっと飲めるようなビールを。
- ・「がんなのかも」と思ってから苦しい思いをしたり、いろいろな思いがあり、よくなったりして波がある。よくなった時にちょっと飲めるようなクセになるようなビールを。
- ・食事に合うという目線もあるのでは。自分の理想の食卓、理想のBBQに合うビールを妄想で考えたい。
- ・治療中は酒断ちをし、治療後の夫婦の旅行先で「飲むぞ」と開けたビールは人生の苦しさや苦さ、酸いも甘いも含めて、飲んだ後のプーというこの一瞬のために頑張ってきたことを思い出した。

☆情緒イメージ

- ・がんサバイバーでも楽しく飲めることを仲間と共有したい。
- ・ほっと癒され、皆さんが一瞬でも幸せや喜びを感じられる、そんなビールと一緒につくりたい。
- ・当たり前のことが当たり前でないと気づいた。奇をてらわなくても、そんなビールをつくれればよい。
- ・旅立った仲間の人生を称え感謝して「ありがとう」の思いが詰まったビールを。
- ・10年間、いろいろな景色を見てきたな、いろいろな人の思いを聴いてきたなと思い出した。
- ・ビールはただおいしいだけではなく、味わい深かったりする。空のみんなとしみじみ乾杯できるビールをつくりたい。
- ・ラベンダーリングで笑顔を引き出す時にビールがあれば、一発で笑顔になれる。
- ・ビールづくりに限らず、社会づくりまでやっていきたい。

WorkCAN's Beer Project 5 第1回ワークショップ



(2) 視聴参加者の声 (Q&A) 「こんなビールを！」

☆味

- ・苦味、これがわたしにとってのビールのうまみです。人生の転機を迎えたとき、冷や汗が引いた後に、まず自分を取り戻すために苦いビールを飲みたい、と思ってしまいます。
- ・柑橘系いいですね！
- ・ベリー系、柑橘系、カカオ等のつぶつぶが入ったのが楽しいな
- ・ビールの美味しさは苦みと香りです。抗がん剤治療を受けているときに、クールごとに完了祝いでビールを飲みました。苦みは「ツライことを征服したような気持ち」香りは「傷ついた心を花びらが撫でるようなイメージ」でいただいていた。
- ・最初の一口に喜びを感じられるような飲みごたえがあるといいですが、コクがありすぎるのではないバランスがほしいです。
- ・苦味がクセになる、そんなビールが人生にリンクしますね。綺麗な色のビールがいいですね。飲めない人にも飲みやすいアルコールやや弱めでもよいかも。
- ・がんと闘う自分にとっては、何か弱々しい感じのビールはイヤです。(笑)弱々しいとは苦みが少なく、ちょっぴり甘い感じのものを指します。
- ・がんを経験したから私たちだから「苦さとうまさ」、あと味は爽やか！がいいかな〜と。
- ・夏の暑い日に飲むガツツリとした苦みとさわやかな爽快感を感じるビールが作りたいです
- ・ほんのり苦味があるとよりビール感が感じられるかも〜
- ・爽やかな香りと喉越しのビールが飲みたいです

☆飲用シーン

- ・夏に外で音楽でも聴きながら、風を感じて飲めるようなビールがいいですね。
- ・家族もさることながら医療従事者の方と乾杯したいな！
- ・抗がん剤治療中ですが、副作用の倦怠感で寝込む数日が明けた後のビールが癒しです。病気になる前よりじっくり味わって大切に飲んでます
- ・抗がん剤治療で何を食べても不味かったので、日常の食卓に合うようなビールがいいです！
- ・京都府与謝野町のホップ農家さんが、採れたてのホップを浮かべて飲むというホップ栽培者だからできる贅沢をなさっていました。あれ、やってみたいです。
- ・カルビーのからだによいおつまみとあうビールのコラボは？
- ・スイスのアルプスの頂上で飲んでるような気持ちになれたらいいなあ、と思います。もちろんソーセージと一緒に。

☆香り・色

- ・虹のような7色のビールで乾杯する。
- ・私も、グラスにつぐ派なので、色のキレイさ、大切ですね！
- ・話題となっている「香り」に特化 唯一無二な香ビール 飲んでみたいです。

☆バラエティ

- ・どうしても一口だけでも飲みたい！という気持ちをかなえる、家族も一緒にたのしめる、小さい缶つきプラス大きな缶のセットなどあるとよいな。

☆容器・付属物・ストーリー

- ・コンセプト的には素材など環境にやさしい、なども取り入れたらよいのでは？
- ・350mlでは多すぎる方もいるのでは・・・280mlくらいの量はどうかね。
- ・抗がん剤治療をしていた頃の妻は、手足に痺れがあって、缶を持つのも一苦労でした。滑りにくい缶があればいいですね。
- ・500mlがいいです
- ・缶のメッセージ・・・いいですね。生きてる喜びも、お空にいる愛する人たちへの思いも、いろいろ入れたいなあ。
- ・ビールは350mlだとおもいますが、飲みきれないことがあるので蓋があるといいな(笑)
- ・私は、ビールが苦手なのですが皆んなと楽しく、時にはひとり飲みたいので極小缶、飲みやすいものをお願いします！
- ・ビールと絵本、素敵ですね！
- ・缶のデザインは世界を感じるデザインがいいなあと思います。
- ・ビールを飲むと、どこでもドアのよいうに、海外旅行に行けたような気持ちになれる。そんなデザインがいいです！
- ・痺れ対策に外にシリコンとかゴムの滑り止めをつけるのはどうでしょうか？
- ・6 packはシェアを前提としたパックなんでしょうね。私は一人きりでしたが、こうしたシェアできるパックをがんサバイバーが集まって次々に空けていく爽快感を味わいたいです。
- ・自分用のキレイなイラストのあるグラスと旅立った方への献杯用のお猪口サイズのグラスのセットとかあるといいかもです
- ・どこかのホップ農家さんとコラボして、がんサバイバーが農作業の一部でも担うことで、「自分たちのビールを作る」ということができればいいですね。
- ・手のしびれ、まだ困ってるので、持ちやすいグラスほしいですね。でも、ビールの色味は見えるものもいいですね。

☆情緒イメージ

- ・飲んだ瞬間、死んでもいい思えるようなビールが飲みたい
- ・副作用が明けた時いつも、「ご飯が美味しい！空気が美味しい！世界は美しい！」と大感動していたので、あの、苦しい時を抜けた時ならでは、いつもの世界が美しく見える感覚を再現した、五感すべて（味はもちろん、視覚的なデザイン、香り、容器の触り心地、喉越し、温度などなど・・・）が震えるようなビールを作りたいです！
- ・香り、色、デザイン、味、音・・・五感で感じ喜べるビール、飲みたい！
- ・できれば新鮮なホップの葉っぱを浮かべて呑みたいです。何故ならば、常に新しい自分でいたいから。
- ・「私、今日もお疲れ様！」と思える、五臓六腑に染み渡りするような深み、奥行きのあるビールが良いなあと思います！
- ・それを飲んだときに、場所や時間を思い出せるような香り、味のあるビールが良いですね。一生忘れない味。
- ・この一杯のビールのために・・・頑張れるビールを作りたいという気持ちが強くなりました！
- ・明日も頑張るぞと言う想いと共に、香りや味で元気が出るようなビールだと嬉しいです。
- ・ちょっと先に空にいった友人と一緒に飲めるような、青空を思い浮かべる爽やかな苦みが欲しいです！
- ・トンネルを抜ける前の人にも、トンネルに入ったばかりの人にも手に取ることで、みんなの思いを感じられ、励みになるビールになったらいいなあと思います。ほろ苦くて、甘酸っぱい、少量缶希望。

☆ノンアル

- ・ノンアルでも苦みがあればOK。

(3) 視聴参加者の声 (アンケート) 「こんなビールを！」

☆味

- ・「苦み」があれば私は賛同いたします。ビールは苦みが命と思います。
- ・ライトで飲みやすいビールがいいです。
- ・ビールは苦味と甘味のバランスが大切だ。どのようなビースタイルでも苦味があることで「これはビールです」という証明になるのかなと思います。ですので、味覚や嗅覚が衰えた方でも、一緒に楽しめるような味わいがあるといいですね。
- ・お話にあったように、私も **飲みごたえがあって、一口飲んだ時にふわっと香るビール**がいいなと思いました。何度も飲みたくなる、飽きのこないビールがいいですね～。
- ・病気で量が飲めなくなり適量が重要ということで、例えば350mlを2缶飲むのが一番美味しく満足感を味わえるような味にするのはどうでしょうか。

☆飲用シーン

- ・**五感が喜ぶビール!** 私は、猫舌堂という会社で、唇が感動するカトラリーやお箸を販売しています。それらを使っておつまみをつまみながら楽しめ、泡がきめ細やかで、唇が感動するビール!があればいいなあ～と考えています。
- ・がんになったときに4人の息子たちはまだ小学生でした。一緒にビールで乾杯することは叶わないかもしれないと涙しました。今は全員成人となり、5人でビールを乾杯する時は当時を思い出して泣きそうになります。
- ・私自身、抗がん剤治療中は口内炎があり思うように飲食できませんでした。口内炎が治まった時に飲んだビールは本当に美味しかった!
- ・原材料の麦と焙煎度合いについては、調整は難しいと思いますので、あとはホップの効かせ具合がカギになると思っています。その点、京都の与謝野町のホップ農家さんが市販のビールに採れたてのホップを茶漉しで入れて飲んでくれるのをテレビで見て、これ、ぜひやってみたいと思いました。食品衛生上、生ホップを添付するのは困難だと思いますので、乾燥ホップ調味料(溶けやすい顆粒or少しづつ溶け出すタブレット)などを使うのはどうでしょう。特に、溶けるにつれて味が変化するタブレットは魅力的です。がんサバイバーにとってタブレットをはじめとする薬剤類は自分の命を延べる大切なアイテムでもあります。それになぞらえて(ここは広告の腕の見せ所だと思いますが)薬事法に抵触しない範囲で、たとえば「延命丸」のような(このネーミングはもちろん失敗例)イメージを付与したら、また面白いかも、と思います。
- ・確か朝から呑めるビールって言うたと思うのですが、大賛成です。休日は遅く起きるしランチでもオッケーな軽いけど飲みごたえもあるがいいです。ドクターからは中年太りが早くても仕方ないと言われてるけど、ビールは好きなので糖質ゼロで美味しいのはウエルカムです

☆香り・色

- ・アルコールに弱くても匂いや色を楽しめ元気をくれるビール。
- ・匂いが分からなくても目で楽しむことができるので、色はとても重要だと思います。
- ・「香」ビールは大好きです。

☆ノンアル

- ・抗がん剤治療中は、アルコールを受け付けなかったんですが、その後の放射線治療の時には、むしろにビールが飲みたくなって。でもその時、主治医から「放射線治療中はアルコール禁止」とはいわれ、飲みたいのに飲めないのがつらかったです。ただ、この時に飲んだノンアルが意外にいける!と思いました。
- ・ビール大好き、お酒大好きでしたが、ホルモン療法を始めてからアルコールにめっきり弱くなりました。**ノンアルまでいなくても、アルコール度数が低めのビールがあると嬉しい**です。

☆容器・付属物・ストーリー

- ・ビールが苦手な人も飲める極小缶で美味しいのも是非!おねがいします。
- ・手のしびれもありましたので、**プルタブを開けるのは一苦労でした。女性の手では今の缶は太く、そしてツルツルの缶肌は手を滑らせる要因にもなります。**いつもビールをこぼしたり、缶やグラスを倒したりしないように気を付けていました。そんな不自由さは家族には理解してもらえないことがあったので、扱いやすい太さの缶やグラスがあると嬉しいです。
- ・**治療が終わっても手足の痺れが残る患者さんもいらっしゃると思います。自分自身、指先に痺れがあり、缶はとても開けにくい**です。市販で(特に爪を守るためにネイルサロンなどで見かけます)、缶を開けるプラスチック製のものが販売されています。今日はビールの味・香りについての意見が多かったですが、是非景品で付けて欲しいです。
- ・飲んだ後の缶を水耕栽培に活用、お見舞いなどプレゼントしたり、一緒に楽しめるビール、
- ・自分の飲める量に合った様々な大きさのビールグラスがあるとみんなが一つのビールを楽しめますね。缶を捨てるのがもったいないので、おそろいのコースターがあるとよいな。取っておくかも。
- ・**ちょっと元気になれる一言メッセージがデザインされた缶が良いな、**と思います!
- ・ここから先 缶のデザインも練られていくとお察しておりますが是非とも取って(タブ)に今回の企画象徴デザインを施していただきたいなあと感じます。手に触れる場所...そこに何かアピール性があったら素敵かなと。

☆情緒イメージ

- ・口をつけるだけでも、飲みたいと言ったお空にいるあの人やこの人。ひんやり冷たいあのひと口目を思い出せるような、きんきんに冷えてなくても美味しさを感じられるような飲み口希望です!
- ・私はA Y A世代の乳がんサバイバーです。人よりちょっと先に経験したことで、辛い出来事だけでなく、ステキな方々に出会えたり、知らない自分に出会えたり、言葉にできないいろいろなことが起きてきました。**そんな私の人生で、たどり着けた景色や想いを、言葉ではなくビールの味で、仲間や家族と共有できるビールになるといい**
- ・抗がん剤から抗がん剤の間、散歩中の公園で一口、ほっとして次、頑張ろう、頑張れるよと自分に言い聞かせていました。なっと思いました!
- ・風の時代にふさわしい、軽やかで、でも個性を楽しむビールを作りたいです。
- ・飲む時間を共有する人がいてこそ、ビールのポテンシャルは最大限に発揮するのだと思いました。今回作るビールは、治療中の人を買って置いて、大事な人との乾杯を心待ちに治療を頑張れるような、生きる希望になるようなビールになると良いなと思います。
- ・治療の間も抜け出してビールを飲んでた仲間が空に行ってしまいました。いつもベレー帽がぶつたので、缶の大きさに合うベレー帽をかぶっている缶ビール? (ベレー帽にはツマミが入っている?) 一度、世から捨てられた気持ちになった私。でも、そこ(底)から復活した私。本来なら捨てられる筈の材料を使っているビール?
- ・味や香りはごだわりません! なぜなら皆で知恵を出し合えば旨いに決まっていますから。だからこそ美味しいの先の何か(感謝or絆orなど)を表現できるビールを作りたいと思います。想像を超えていきましょう!!!

☆バラエティ

- ・苦味が、私にとっては最大の魅力ですが、人によって苦いのが苦手という人もいることを考えると「追いがつ」ならぬ「追い苦味」が可能になる方法はないものでしょうか。抗がん剤治療による味覚障害などもひとによって千差万別であるなかで、がんサバイバー全体に受け入れられる味というものを目指すより、好みの味に調整可能なビールを出すということも、技術的に可能かつリーズナブルなコストに収まるという限定付きで、考えていけばよいのでは。
- ・色々なフレーバーが楽しめるビール。(フルーツ系、苦い系・実際に出来上がる分量や時期が気になります。

WorkCAN's Beer Project



5 第1回ワークショップ

(4) 声を踏まえた方向性のまとめ

☆中味（味、香り、アルコール度、飲用シーン）

・苦味と爽やかさを併せ持つ方向を含め、**苦味や飲みごたえを期待する声**が目立つ。

◇やっぱり苦み。ほろ苦さを。治療等のつらい思いも一緒に味わえ、「自分にご褒美」や「空のみんなにも乾杯」。

◇いろんなことを味わいながら実感できるような飲みごたえ。味わいのビール。

◇最初の一口に喜びを感じられるような飲みごたえがあるといいですが、コクがありすぎるのではないバランスがほしいです。

◇がんと闘う自分にとっては、何か弱々しい感じのビールはイヤです。(笑)
弱々しいとは苦みが少なく、ちょっぴり甘い感じのものを指します。

・一方で、夏に合うような飲みやすさを好む意見も一部あり。

・**香りを重視する声**も目立った。ホップの香り、柑橘系等。

・**アルコール度数**に関し、「ノンアルまで行かなくても低めを」望む声。

⇒**苦味の程度は中味づくりの上で論点になりそう。**

⇒**アルコール度数**は全体のバランスで決めればよいとするか、それとも重視すべきポイントとするか。

☆情緒イメージ

・大別して、以下の2方向がありそう。

①癒し、しみじみ、味わい

②頑張る、元気、爽快

①がやや多いが、①②の組み合わせもあり。その場合は「みんなで、笑顔、ありがとう」がキーワードか？

◇ビールはただおいしいだけでなく、味わい深かったりする。空のみんなとしみじみ乾杯できるビールをつくりたい。

◇ほっと癒され、皆さんが一瞬でも幸せや喜びを感じられる、そんなビールを一緒につくりたい。

◇あの、苦しい時を抜けた時ならではの、いつもの世界が美しく見える感覚を再現した、五感すべてが震えるようなビールを作りたいです！

◇明日も頑張るぞと言う想いと共に。香りや味で元気が出るようなビールだと嬉しいです。

☆容器・付属物、その他

・**缶にメッセージを記載**する意見が目立った。

◇みんなのいろんな思いを散りばめ、それぞれの思いを味わえるように。

・持ちやすい容器、しびれ対策

・2種類の違うビール、いろいろなフレーバーのビール、味わいの変化等、バラエティで見せる意見もあり。

⇒ネーミングについては、意見がまだ出ていない。

6 第2回ワークショップ

(1) 実施概要

- ・第1回の意見を踏まえると共に、ビールづくりに関する技術者からの説明、HOPPIN' GARAGEのデザインや人生ストーリーに関する説明を交え、意見交換を行った。

①ビールのつくり方 サッポロビール 商品・技術イノベーション部 蛸井潔フェローの話

- ・ビールは液体のパン～ビールの歴史と現在のビールの特徴
- ・ビールのつくり方、原料、ビールのスタイル
- ・具体的な商品開発の事例から

②HOPPPIN' GARAGE担当クリエイティブ・ディレクター (株)スティーブアスタリスク 太田伸志社長の話 (概要)

- ・HOPPIN' GARAGEのビールづくりでどういう世界観にしていくかで大事なものはストーリーづくり。それをデザイン等でやっている。絵本もつくったりしていて、HOPPIN' GARAGEに込めた思いをお話にしている。ロゴは、一人の人の頭の中にはいろいろな思いが詰まっていることを表したもの。BREW YOUR STORY、あなたの人生ストーリーを醸造することでビールができる。どの商品も必ず誰かの人生ストーリーをもとにつくっているということ。「苦いビールができた」ではなく、「この人の人生ストーリーをこういう味で表現している」のがHOPPPIN' GARAGEの目指すところ。

6 第2回ワークショップ (2) 参加者の声から

☆中味の方向性

- ・ビールは食事とあわせるので、それを邪魔しない香りや香ばしさと苦味のものガスキです。ホップの香りにこだわりたいなあ。
- ・ビールならではの苦みや飲みごたえがあると、そこに感情が込められるのでよい。
- ・ビールづくりで思うのは、サバイバーとして苦々しい経験はしてきたが、プラス乗り越える意味では、あとに残る爽快感を。香りなのか、炭酸の強いのごしなのか、ぐっと苦味はあるがふわっと抜ける感じがあれば。
- ・可能であればシーンに合わせて選べる2種類があると良い。強い苦み、炭酸強め、香りも強めのしっかり系と、のごし、爽快感重視のアルコール軽めのもので出来ればそれぞれの好みにより同じシーンで楽しめる。
- ・生きている喜びを実感できるビールとなると、人生は苦しみや悲しみも喜びもあり、苦味の後に爽やかさが広がるようであればよい。その後に皆さんが特徴的な香りを感じられればよい。

☆情緒イメージ、ストーリー

- ・楽しいと思うのは、仲間とビヤホールで乾杯するのも、自分一人でキンキンに冷やしたビールを飲むのもあり。ビールで最後まで通すことは少ないので、最初の初々しさがビールはよい。出会いの楽しさとビールでの乾杯は近いものがある。出会いや再会の入口にビールがあり、闘病からの復帰など、何かの変わり目のビールもありでは。夏の夕方、光が残っていて、仕事も早く終わった時にカシュツという感じも。
- ・2種類なら爽やかに飲めるのもよいが、空のみんなを思って飲めるビールも。・苦・楽とか、生・死とか。
- ・今回、私たち一人ひとりが経験して一番大きいのは、生きること、死ぬこと、友だちと別れることを同世代より多めに経験してきた人たちの集まりであること。ぐっと飲んで、あーつと言えるようになればよい。
- ・共通点として、1回病気を経験した。ストーリーの一般化はなかなかできないが、重々しくなく、皆をまとめようとするのではなく、磁石みたいであればよい。仲間をしみじみと思い出すのでもよいかもしれない。
- ・ビールから始まり、ワインやウイスキーや焼酎に移行して、色々飲んだその後にもまたビールに戻るのが大好きです！人生のように、色々あってもまた戻ってこられる港のようなビール、創りたいです！
- ・私は遺族で関わっている期間の方が長くなった。その気づきで生きていかないとけない。その人たちが好きで大事に思う気持ちを抱えていきたい。空のみんなと乾杯したい。
- ・パネラーの一人ひとりにいろいろなストーリーがあり、何十種類もできてしまう。「誰のための、どんな時の」をもう少し探っていてもよいのでは。
- ・抗がん剤中、家にこもって空を見ていた。きれいな景色を見ながら、1粒涙を流せるようなビールがあればよい。先に旅立った人を見送るのも高台から遠くを眺めるイメージです。北海道の美瑛の田園風景とか、岬から海を見るような感じを想像します。
- ・遠くをふわっと見るような視線。空はどこでもつながっている。今生きていることにも感謝し、先に行った人にも会えてよかったとさっさとと言えるようなビールを。
- ・来月、友人の1周忌を迎える。治療中、「飲んじゃう」と言って「ああ、おいしかった」と飲んでいた笑顔が忘れられない。いのちに乾杯のコンセプトはどうか。生きていても亡くなっても、私たちはつながっているよねと言えるビール。私たちがサバイバーとして大切にしたいのは、つながりやいのち。
- ・今の話を聞いて、当時の頃を思い出した。未だに生きていることの実感や感謝もありつつ、毎年の検査も不安だったりする。天使的と小悪魔的という意見もあるが、暗くならずライトに行ければよい。ナイトリー的なストーリーもありでは。
- ・当時のことを思い出し、改めて有難うとか、感謝の気持ちを持った。いろいろな人がつないでくれたから、今の自分がいる。自分もこれからがんになる人のために何かできるかもしれない。「つながり」は広い感じがする。
- ・それぞれの人が大切にしている人の顔が思い浮かぶようにしたい。それが「つながり」の一言に入っている。
- ・人生ストーリーは、1人の人にフォーカスする考え方もあれば、まとめなくてもよいという考え方もあるのでは。つながりからすると、「人類」というと大げさだが、旅立った人がいて、今生きている人がいて、これから出会う人がおり、人から人への大きなつながりをHOPPIN'おじさんに見つめてもらいたい。
- ・HOPPIN' GARAGEはハイタッチの人のぬくもりが感じられる世界であり、ネーミングも一言の決め台詞ではなく、少し長めでもよいのでは。
- ・趣旨のところに「コロナの中、不安を抱える人たちが生きていく喜びを取り戻せるように」とありますが、過去それぞれ様々な経験がある一方で共通するのは、「今生きている喜び」それが、がんとは関わりのない様々な事情のある、あるいは事情のない人々にもつながり、かつ共感される気持ちであるように思います。

6 第2回ワークショップ

(3) 意見を踏まえた中味の方向性

・第3回ワークショップに向けて早急に中味の試作に入ることから、ワークショップの最後に出た意見をもとに中味の方向性を以下の3つにまとめました。

① 苦味や飲みごたえをしっかりと感じられる方向

② 苦味に加えて爽やかな後味や少し特徴的な香りが感じられる方向

③ 夏の夕方、まだ日が出ている内に飲めるようなやや軽い方向

6 第2回ワークショップ

(4) 終了後の視聴参加者アンケートの主な声

①プロジェクト全般

- ・皆さんのこれまでの様々な思いが、ワークショップの中で展開され、単に飲み物としてのビールではなく、ひとりひとりの思いが凝縮されたステキなビールになりそうな予感がしました。
- ・原料からネーミングまでのビール製造ストーリーと、がんに関わる人生ストーリーを重ねて語り合う、素晴らしい活動だと思います。現在がんに関わる方々も、将来がんに関わるかもしれない方々にも、この活動を広めて元気を発信してほしいと思います。
- ・みなさんの思いが伝わるよい時間でした。旅立たれた方への思いが語られていて、それも素敵だとおもいましたが、どちらかというと今を生きるためのビールもいいなと思いました。
- ・皆さまが常に死を意識して活動されておられることがヒリヒリと伝わり、改めて「生きるとは」を考えさせられた時間でした。
- ・ビール作りのお話も大変興味深く勉強させていただきました。まさに工場見学に行っている気分になりました。またどんなビールを作りたいかと味やコンセプトの意見交換の際も、チャットで参加していても、その場において、みなさんと意見交換しているような気持ちになれ、一体感を感じることが出来ました。そんな仲間に入れていただいて、とても嬉しく感じた時間でした。皆様と一緒に、どんなビールが作れるか、とても楽しみな気持ちが増えました！今後のワークショップも楽しみです！
- ・いろいろな方々の意見を取りれるのは良いと思いますが、一貫したストーリーは崩れる事無く、飲んでいただける方々に思いが伝わるようにお願いします。

6 第2回ワークショップ

(4) 終了後の視聴参加者アンケートの主な声

②こんなビールを！

- ・私自身はがんサバイバーですが、一緒に向き合ってくれている家族もほっと一息できるようなビール、植物が芽吹く力をイメージできるようなものがステキだな、と思いました。
- ・第1回目に話題となっていた「香」まさにこれを主軸とされたビールを是非と思います。デザインにつきましては「缶のプルタブ」色や模様をつけて缶を開ける時のわくわく感、まさにわくわく缶演出醸し出す。そんなひと手間デザインがあつたらいいなと思います。ネーミングは例えばビールプロジェクトの骨幹でもある「つなぐ」をベースとしたフランス語 lien(リエン)、ドイツ語 verbinden(フェアビンデン)を文字ったりまさに「TUNAGU」ローマ字そのままでも素敵かなと感じます。
- ・私にとってビールは食事を楽しむための必須アイテムです。今日も一日、がん体験者としてたいへんなこともあるけど「がんばったね」というご褒美ビールのようなイメージが良いなと思います。また、ビールだけで飲むときは少し濃い目の黒系も選びます。2種類にするなら、白と黒みたいな感じが良いかと思いました。お空の友に捧げるなら青かな。たくさんのお思いがあって、3種類じゃ足りないくらいですね。6本セットにしちゃいましょうか？(笑)
- ・ネーミング(文字制限はあるのでしょうか?)・果てしなく広がる空・あおぞら・にじ・虹・きみに乾杯・つながる想い・きらきら星 デザイン・やさしいタッチのさわやか系(白をベースに)・男の子と女の子が風船をかざしながら歩いているイラスト・地球をモチーフにいろいろな人が手をつないでいるイラスト。味は柑橘系のフルーティーなものも良いかなと思います。
- ・今回も話題に出てましたが、『2種類のテイスト』味があれば嬉しいです。晴れやかな軽々とした気分の時もあれば、重くずっしとした気分…気持ちを抑えて飲みたい気分の時もあるかと…(わがままな患者気分です)私達のビール『WE ビール』『Weis ビール』楽しみです。
- ・ビールプロジェクトに参加したが、実は自分はお酒が飲めないのです。疾患や治療の影響でアルコールが取れないこともあると思いますのでアルコール度数の低いものもあるとよいと思います。また思いやエピソードが想像できるデザインやネーミングになると素敵だと思います。ただがん等をダイレクトに表現するのではない方がよい気がします。
- ・私はいただいたご案内の中に、コロナの中だからみんなに元気を供給できるような、というような趣旨が書いてあったことに大変賛同するもので、みんないろんな体験をしているからこそこれがこの時代を乗り切るのに役立つ、という趣旨が感じられる明るい飲みやすいビールになれば、と感じておりましたが、先日の議論は、それぞれご自身の体験そのものを表現することに意味がある、というご意見が多かったようにも見受けられました。そうした場合は、それぞれ2種類にして、明るいものと、もう一つは自分の体験の辛かったこと、亡くなった友人(私も若い大親友だった同室の女性をなくしています)を思い起こす少し苦味のあるようなものであったも良いのかと思いました。
- ・人生に対して前向きになれるビールを作りたいです！
- ・和風のハーブ入りのビール。どくだみ、ユキノシタ、黒文字、抹茶、緑茶、番茶など。・スパイスやハーブの花や花びらが入っている。・かき氷にかけて味わえる。・とろみを活用しても味わえる。・あたま、こころ、からだが循環する。・困っている時でも考え整理でき、なんとかなるよと自分にメッセージできる。・対話ができる、対話につなげてくれる。・自分で自分を慈しむ、自分と対話できる。・癒し、瞑想につながる。・飲んでいたら、マインドフルネスになっていた。
- ・「苦しい治療」「切ない別れ」「言葉に尽くせない思い」など一人ひとりが経験した思いがベースがありながらも、それは一つの共通するほろ苦さとしておぼろに集約されていって、いま一緒にいる人も、記憶の中の懐かしい人も、なかなか会えないあの人も、そのビールで乾杯することで、もう一度ともに同じ時を過ごしながら淡い色彩の時間をたゆたうような、そんな一杯になっていくのかな…というイメージです。

7 第3回ワークショップ

(1) 実施概要

- ・パネリスト事前試飲を踏まえた試作品3方向の中味、並びにデザイン制作の土台となる世界観を表すビジュアルイメージについて、意見交換。

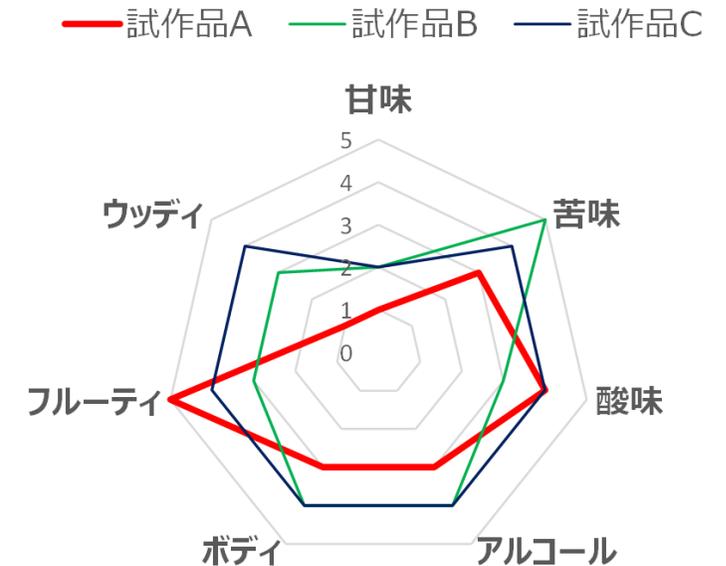
(2) 中味について

①提示したコンセプトと味覚イメージ ※コンセプトは () 内のみ、A,B,Cで異なる内容。

生きている喜びを心から実感できるビール。
がんなどの様々な事情を抱える人たちが喜びを実感できるように。
コロナの中、不安を抱える人たちが生きていく喜びを取り戻せるように。
そんなビールを、がんサバイバーを中心に思いをつないでつくりました。
()
つながりに感謝し、いのちに乾杯するビールです。

☆コンセプト

- A 時の移ろいと明日への希望を実感できるような、爽快なのごしです。
- B この世界を生きていくための勇気を与えてくれるような、力強い味わいです。
- C 悲しみの向こうに笑顔がある人生のような、ほろ苦さと爽やかな後味、香りが特徴です。



7 第3回ワークショップ (2) 中味について

②当日の主な意見

- Aを推した。とにかく香りが爽やか。一口飲んで爽やかで豊か。フルーティーで香りが強く、喉ごし爽快。ラベルを見てアルコール4%と気づいたが、どんな人にも飲んでもらえる。最後までCと悩んだが、第一印象でびびっと来たAを選んだ。明日への希望につながる爽快感、華やかさがあった。
- Bを推した。試飲したのは暑い日で、駆けつけ一杯のAもおいしかったが、ちゃんと飲んで決めようと思った。Bの苦味が好きで、ビールらしい力強い味。コンセプトの「この世界を生きていくための」はちょっと重い、「力強い味わい」にはマッチしている。AとBで迷った。Aはごくごく、Bはしみじみとする感じで、誰かのことを思いながら飲む感じ。
- Cを推した。口にするとまず苦味があるが、それだけではなく爽やかさ、華やかさが後から来る。ウッディ、フルーティーな感じもして、変化がクセになる。がんを経験した中、がんにならないければ考えなかったこと、出会えなかった人に出会えたりした。「悲しみの向こうに笑顔」というコンセプトは素敵。味わいとコンセプトが自分には「そうだよな」とマッチした。Bと迷い、Bは苦味がよかった。Aはごくごく純粹に飲める感じ。今回の中でどういう思いを込めて飲めるかという点ではBかC。
- Aとすぐ迷い、無茶苦茶悩んでCにした。すぐ後に試飲した人がAを選んだので、「Aなの!？」と思った。冷え冷えの瓶で出てきたので、また触りに行きたい。Cはいろいろなものが全部入っていて、複雑すぎて人気がないのではと思っていた。
- お酒好きはBが好きではと思った。Cは複雑で、いろいろな解釈ができる。Aもいいなと思った。今回の趣旨からするとCだと思った。コンセプトを見てから飲んだが、幸せなビール瓶はよかった。
- Cを選んだが、Aとで迷った。コンセプト案や味、皆と共有してきたストーリーが頭を巡り、よい時間だった。
- フレグランスの開発をしていた時、技術者とリーダーチャートをつくり、「フローラルやハーブ、木の感じはこれくらい」とやりとりしていたので、似ていて面白かった。自分の担当していた香水はお酒を裏テーマにし、「モヒートみたいな香水」、「サングリアみたいな香水」とか「ワインベースでモヒートをつくらせたら」と嗅覚を味覚にたとえてやっており、逆もあると思ったので面白かった。どれもおいしそうだし、どれになっても大満足。
- 大満足で、どれも飲みたくてよだれが垂れそう。元々ビールやお酒が好きで、カーッと飲んでる時に「生きてる」と思うのでAはよいし、グレープフルーツや柑橘系に癒されるので、Cもよいと思う。放射線の最中はワイングラスにぶどうジュースを入れていたが、治療後は「おいしかった！生きてる！やっと飲めた！」と思ったりした。
- A、B、C、どれが来ても問題ない。
- 私たちの気持ちを味にして返してくれたことに感謝したい。
- 自分はCが一番よくて、C、A、Bの順番。
- サッポロの人は普段から飲んでいるから、我々の第六感とは違うのかも。
- BとCで悩んでCにした。Bも豊潤で、誰かを思い浮かべたりすることに合致している。Cは香りの甘さと味のほろ苦さのバランスが良い。苦い経験をしたけれど今は前向きになっているギャップとバランスからCにした。

③パネリストの事前試飲評価結果の報告

- コンセプトと中味の総合魅力度、3品の順位付けで、Cが最も高い定量評価結果となった。

WorkCAN's Beer Project

7 第3回ワークショップ

(3) デザインについて

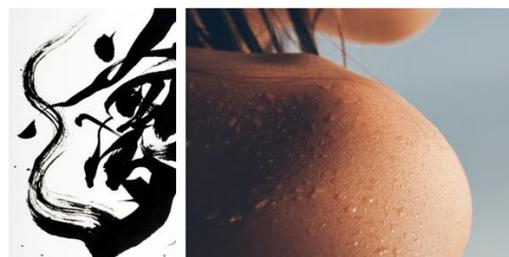
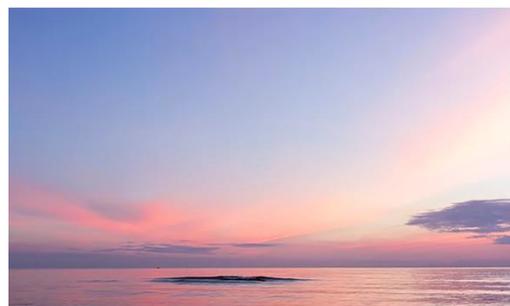
① 考え方 (スティーブアスタリスク社 太田社長)

- ・缶デザインの前段階で、コンセプトを視覚化したビジュアルイメージ。ビール全体のコンセプトは「つながりに感謝、いのちに乾杯」が軸になっており、「生きている喜びを実感できるビール」は揺るがないが、どの視点から感じるかがコンセプトの3方向で異なるので、それぞれがどの視点からの喜びなのかを視覚化。これからどうデザインに落とし込むかが3方向で異なるということ。

イメージA

イメージB

イメージC



☆補足説明

A : マジックアワーの何気ない風景も美しく感じる瞬間の夕方くらいの空。手をつなぐ写真は、爽やかな優しい感じが何気ない日々の喜びや日常を表している。人の後ろ姿だけをあえて示したのは、優しく誰かに思いを馳せる様子だが、それは隣にいてくれた誰かかもしれない。音とか風景も日常の一つであり、美しいと感じる瞬間や延長としての普段は目を向けないところに目が行ったり、もう一段、解像度を上げることもあるのでは。

B : 歩いたり動いたり、ちょっとした活動にはエネルギーがいる。苦さをかみしめながら、馬のイメージ。力を振り絞った時の汗、人間らしい躍動感、リアルな生きている感触。何かめらめらとたぎる感覚や苦味をかみしめる強さを炎で表現。力強い太い木は芯のある感じ。書の動きの力強さは、誰かに思いを伝えたい意志にもつながる。

C : かみしめる苦さというよりほろ苦さ、その後に抜ける爽やかさ。雨上がりの雲から覗く日差しや虹。つぼみだった花が気づくと思いきり咲いている。大樹ではなく、ふと足元を見ると芽生えている苔の美しさ。冬眠から覚めた頃に出てくる小動物。

7 第3回ワークショップ (3) デザインについて

②当日の主な意見

- ・Cのイメージが響いた。中味はBを選んだが、Bだと気のイメージがしっくりくる。ハワイにあるような木。
- ・Cが気に入っていたが、緑っぽいイメージがある。右下の芽吹く感じがよい。隣にある、天気が完全によいわけではないが明るくなりかけの感じが素敵。
- ・視覚で見るイメージと中味のレーダーチャートからすると、飲んではいないが、AとCが逆ではと思ったが、説明を聞いてなるほどと思った。最初はCの味のイメージはAのヴィジュアルだと思った。
- ・Cのビールは複雑なものがいろいろと包含されている。今の説明は、「暗いところから明るいところへ」や「雨が上がって晴れる」感じだが、ピフォア・アフターと言うより、今、ここに全部あるのがCのイメージだった。冬や晴れてなかったりする時間もすぐここにある感じ。時間軸というよりはカオスであり、トータルでは明るく笑顔でよいが、常にいつもカオスがあるからこそその明るさや強さがCと感じていた。影の部分が個人的には気になっていた。
- ・Aは大人すぎる静のイメージだが、もっと複雑であり、人それぞれに同じ状況でも違ったりする。楽観的な人も落ち込む人もいる、複雑な部分を表現できればよい。1つの希望を緑芽吹く部分を含め、時間変化ではなく表現できると素敵。
- ・自分のがんの歩みは光がさしているイメージ。最初は暗かったが、受け入れた瞬間、ぱっと光が差した。今は馬のイメージ。
- ・抗がん剤の最中は馬のイメージで、毎回にんじんがぶら下がっている感じだった。
- ・自分は20年間抗がん剤をやっており、集中して頑張れば抗がん剤も忘れられた。
- ・写真によっていろいろなイメージがあり、それぞれの特徴をうまく表現している。治療の段階によってもイメージする写真は変わってくるので、どれも捨てがたい。今は経過観察中なのでCだが、BやAの時もある。それぞれの人の段階によってイメージは異なるし、変わっていったら当然。その人その時のイメージにあったものなら嬉しい。
- ・コンセプトからすると、AとCが逆。Aは明るい明日に向かって雲の中から日差しが出てくる感じ。Bは力強い感じ。BとCは明るい青空より色がかった空の下でしみじみ飲む感じで、AとCが逆。
- ・お酒は弱い、香りは印象的。ビール会社の育種の話は初めて聞き、身近に感じた。Aは朝焼けか夕焼けか、それによって見方も変わる。植物のヴィジュアルは、根っこが見えない中で伸びていく点で苔も木もだる。
- ・空は、暗いところから明るいところに行くのがよいか、ぱきっと光があった方がよいか、人それぞれ。複雑だから複雑に、でもなく、お任せでよいのでは。一人ひとり、皆違う。それぞれがそれを見てどう思ったか、意見を集める方が面白いのでは。
- ・正解不正解の話でもなく、全員の平均点の話でもない。サッポロとも何度も事前に打合せしてきた。
- ・正解は1つではない。どう形にするか、頭の中をぐるぐる回っている。スティーブなりに悩んでみたい。
- ・見えない味をチャートで見る面白さがあった。コンセプトからは、Aはもっと明るいのかなと思っていたが、暗くはないが切なく胸にぐっとくる感じがある。Bはわかりやすく、生命力を感じる。Cは苦しみやしんどかった思いから、これから晴れていく前向きな感じ。これを見た感じでは、Cがぴったりと思って見ていた。
- ・試飲した感じはレモンイエロー。安心感や他愛もない感じ、ものがきれいに見えるイメージ。自分はAを選んだが、手をつなぐイメージがよい。ヴィジュアルで好きなのは、つらいことや悩んでいたことはあるけれど無駄ではなくて未来につながっていくCのイメージ。

7 第3回ワークショップ

(4) 今後の進め方

ワークショップでの意見をもとに、

- ・中味は、C方向で最終試作品の試作を行う
 - ・ビジュアルイメージは、C方向を基本にしながらA方向とC方向を比較、再検討する
- その際、悲しみと笑顔がbefore/afterではなく、一つに溶け合った世界観を志向する

こととした。

7 第3回ワークショップ

(5) 終了後のアンケートの主な声

- ・コンセプトにあわせて、様々な意見をまとめていくプロセスが興味深いです。みな異なる経験を持ち、実際に試飲した人もそうでない人もみんな、一つのものを作るって素晴らしいことですね。よい経験をありがとうございます。
- ・ビールの作り方とかは全然知らないですが、イメージをかたちにするプロセスを知ることができました。ビジュアルも色々考えさせられ、楽しかったです。どれも販売したいくらいとても素敵でした。
- ・2回目と今回の参加でした。試飲してなくも味や香りなど各イメージが広がりました。そして、そのイメージに合うラベルのイメージ、さらにそれについての皆様の感じる想いイメージなどのご意見を楽しく聴かせていただきました。1つの商品を作り上げていく色々な段階を知ること出来参加してよかったです。それぞれを味わってみたいと思いました。ならば、ABCの3本セットの商品も希望したいと思いました。
- ・ストーリーは一人一人異なりますが、どれも素晴らしく感動します。出来上がったビールも、飲んだ一人一人が自分のストーリーを語って、みんなが尊重し合うコミュニケーションツールになるといいですね。
- ・みんなで味わえる機会を楽しみにしています
- ・初めて参加させて頂きました。ありがとうございました。ビールを、愛するいろんな方のお話が聞けてとても楽しかったです。
- ・こういうワークショップははじめてで、ワクワクして、楽しかったです。最初から参加していないからかもしれませんが、やはり聞いているだけでは少し物足りない感じがしました。完成したときには、コロナが収束して、飲みながら一緒に完成をお祝いしたいです。
- ・味のコンセプトも決まり、いよいよと言う感じがしました。デザインのイメージ写真がそれぞれ素敵で、1つに絞ることは本当に難しいと感じました。患者としては治療の各段階やその時の体調により、共感できる写真が変わると思います。一人一人のシチュエーションに寄り添うことが出来るデザインになったら良いなと思います。商品の完成が待ち遠しいです。商品開発に関しては全くの素人ですが、一視聴者ですが自由に意見を言わせて頂き、プロジェクトに参加させて頂けるこの企画は本当に貴重な体験で、この場をお借りして感謝致します。このビールが完成したら、第2弾も期待しています。
- ・ストーリー・コンセプトに沿ったビールを想像しながら参加させて頂き、とても楽しかったです。とにかく、飲んでみたいです（笑）そして、皆さんと語り合いたいです。素敵なプロジェクトをありがとうございます。2月はリアル開催されることを心から祈っております。

8 その後のサッポロビール社内検討事項

(1) ネーミングについて

- ・コンセプトをストレートに表現すべく、キーメッセージの「つながりに感謝、いのちに乾杯」をベースにしたい。
- ・その際、「つながり」をより広い意味合いにした「出会いに感謝、いのちに乾杯」も検討。
- ・ネーミングの『組み立て』として、以下の2方向をもとに最終ワークショップまでに検討を進める。

① コンセプトをそのままストレートに訴求。

ネーミング案

つながりに感謝、いのちに乾杯

② コンセプトをサブタイトルにあしらい、ネーミング的な言葉を前面に訴求

ネーミング案

Thanks & Cheers!

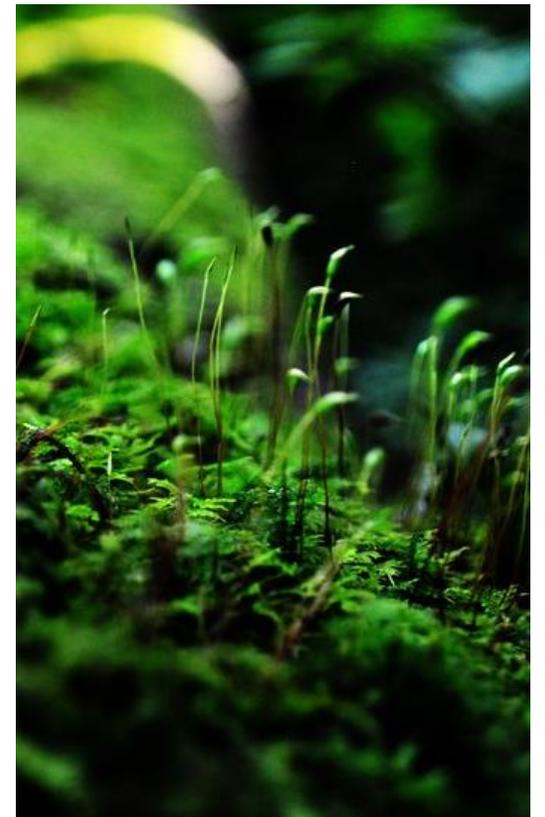
～つながりに感謝、いのちに乾杯～

WorkCAN's Beer Project

8 その後のサッポロビール社内検討事項

(2) イメージビジュアル : A方向とC方向をもとに再構成し、次のイメージに。

- ・悲しみと笑顔が溶け合った、多様な解釈ができる複雑性のあるイメージ。
 - ・その中で、生きることの喜びが微かに、でも確かに感じられるイメージ。
- ⇒これを踏まえて、デザイン作業を最終ワークショップに向けて進めていく。



8 その後のサッポロビール社内検討事項 (3) ストーリーブックについて

- ・第2回ワークショップで話が出た「ストーリー」に関しては、第3回ワークショップで中味やデザインの方向性を決めた上で、ストーリーブックの製作を進めることとしている。
- ・缶デザインと並行して制作を開始し、骨子については、最終ワークショップで議論できるべく検討を進める。
- ・最終版は、来年8月の発売時に間に合う形にする。

9 最終ワークショップ ・タイムスケジュール

	項目	内容	時刻	時間	備考
1	開会	・導入	18:00	0.05'	
2	今回の進め方について	・第3回までの振り返り ・本日の進め方	18:05	0.10'	サッポロ村本
3	中味について	・最終試作品について	18:15	0'05'	サッポロ蛸井
4	フリーディスカッション①	・中味について ・試作品事前試飲結果まとめ	18:20	0.13' 0'02'	フリーディスカッション ※おいしさ、期待感を未試飲者にも共有 サッポロ村本
5	デザインについて	・デザインの考え方 ・ストーリーの方向性	18:35	0.10'	HOPPIN' GARAGEチーム
6	フリーディスカッション②	・デザインについて ・ストーリーや全体について ・これまでを振り返って	18:45	0.40'	視聴参加者の声も随時紹介
4	クロージング	・今後の進め方	19:25	0.05'	

9 最終ワークショップ

(1) 最終試作品コンセプトシート

Thanks & Cheers !

であいに感謝、いのちに乾杯

生きている喜びを心から実感できるビール。

がんなどの様々な事情を抱える人たちが喜びを実感できるように。

コロナの中、不安を抱える人たちが生きていく喜びを取り戻せるように。

そんなビールを、がんサバイバーを中心に思いをつないでつくりました。

悲しみの向こうに笑顔がある人生のような、ほろ苦さと爽やかな後味、香りが特徴です。

9 最終ワークショップ (2) 中味事前評価コメント①

		コメント抜粋
フリーコメント ※感想等を 自由に記入	パネリスト	<ul style="list-style-type: none">・明らかに普通の（ピルスナー）ビールと違うインパクトがあり、最初のアタックから飲んだ余韻の収れんまでがこちよく、その間が生きることをどんな形でも受け入れるような肯定感を感じる。・清々しさを感じる。いろいろあったなあと思ひ出させるような余韻。しっかりと個性を感じながら、誰にでも飲んでもらえるような飲みやすさもあり、よい。・ビールだけで楽しむことも食事と合わせて楽しむこともどちらもできる（食事にも負けない味わい）はよいですね。・ビールらしいほろ苦さ、そしてこれまで出会ってきた人たちひとりひとりの笑顔が思い浮かぶようなさわやかさ。これまでのワークショップを通してつないできた皆の想いが本当にひとつの味になっています。・口に残る味わいと共に、少しずつ緑が変化して、あわい水色～ピンクのような色に変化していくようなイメージが思い浮かび、そこに色々な人の想いが乗せられるように感じました。・前より雑味が消えてシャープに？ 後から来る味の複雑さはそのままに。より融合したカンジ。よい複雑さに変化。まさにinclusion。マジックアワーの中でのんびりゆっくり飲んでほしい。・スパイシーさがまるやかになった分、苦味がしっかり味わえるようになった。100点にするにはカルビーのつまみが必要。・“ほろ苦い”よりは結構苦いかなと思う。特に後味として舌の奥の方に残る。

WorkCAN's Beer Project



9 最終ワークショップ (2) 中味事前評価コメント②

		コメント抜粋
フリーコメント ※感想等を自由に記入	一般参加者・メディア	<ul style="list-style-type: none">・ひのきのようなwoodyな香りが気持ちをおちつかせてくれるので、わいわいしすぎない落ちついたイメージがコンセプトに合っている。・パッケージ（ラベル）への期待を含めて90点とさせて頂きました。味はペールエールのようにさわやかさがあがり、苦みがそれを引き立てているように感じました。人生も谷があるから山を実感できる…作り手が込めた想いを感じました。・すこし時間が経つと香りが変わり、味も変わるのをぜひ伝えて欲しい。・コンセプトにある通り、ほろ苦さとさわやかさがよいバランスになっていると思います。・がんサバイバーの仲間達に、また、世の中、不安を感じている多くの方々に届けたいと思いました。
	サッポロ社内	<ul style="list-style-type: none">・まろやかな味わいと後からくる苦味のバランスがとてもよく感じました。微かに香るホップもほどよく感じました。・ストーリーに共感できるかどうかで感じ方が変わってきそうだなと思いました。・人生を豊かに後押ししてくれるようなコンセプトと合った味わいだと思いました。・ほろ苦さはあまり感じなかったが、さわやかさ、香り、後味のよさもあり、こういった想いを込めてつくったビールというのが素敵です。・がんサバイバーの想いをつないで表現したというストーリーが大きな魅力の商品になると思う。この想いは是非パッケージでも表現したい！

9 最終ワークショップ

(3) 中味に関する意見交換

☆当日の主な声

- ・ビールの説明 オールモルト。人生の苦みも感じられるちょっと高めのalc5%。BU38、お店で売っているビールではなかなかない。ホップは量が少ないソラチエースを社内調整でOKとなり、使用。チャートの通り、香りとボディが比較的あって苦味がどんと来る。
- ・パンチがあり、アタックの後に酸味も広がり味わい深い。一発目の印象と余韻が広い印象。いつでも新鮮な味わい方ができ、じわじわ食事と合わせて飲める。クラフトビールのテイストもあって、すごい。ぞくぞくした。
- ・香りがすごくよい。あれっと思って、ごくごく飲んでしまった。
- ・コンセプトはその通り。ビールだけで楽しむのもよし、料理と合わせるのもよし。どんなシチュエーションでも飲める。ここでしか飲めない特別感があって、このプロジェクトに参加してよかった。試飲の時は色が薄かったが、緑がかった黄色はコンセプトにも合っており、どんな楽しみ方もできてよい。
- ・缶の中に残ったビールとかぎ分けた。キラキラした色、のどごし、苦み、いろいろな印象があるが、香りはとても大切な要素でこのビールの特徴であり、時間の中で変化するので、いろいろ楽しんでもらえるのでは。
- ・最初に驚いたのは結構苦かった。自分の好みで嬉しかった。色、香りがコンセプトとマッチしている印象をとにかく受けた。ビールを1缶飲むのに時間がかかるが、このビールはぐびぐびと飲んでしまった。
- ・爽やかさと苦さがよい塩梅。ぬるくなってもおいしいし、食事しながらでも何でも合う。合うつまみをカルビーとして当然考えている。
- ・色がキラキラしている。それを見ながら「きれいだね」と言いながらみんなで飲みたい。
- ・「森の中の感じ」というコメントはすごく同意。「ホップの香りだ」と思った。缶から飲んだので、色が見えなかったが、草色かと思った。すごくおいしかった。
- ・(チャット) 苦みとさわやかさでバランス絶妙。闘病中はどろどろした気持ちだったので、語る時は爽やかに語りたい。
- ・ここまで言ってもらえるとは全然思っていなかった。色にもそこまで反応するとは思っておらず、意識していなかった。あまり濃くせず、原料から来る自然な色合いにしようと思い、今回はストレートに色の薄い麦芽を配合した。
- ・コロナの中で不安を取り戻せるようになればよいし、ワークショップもコロナでどうしようかと思ったが、ここまで来ることができてよかった。
- ・(チャット) ギンギンに冷えていなくてもおいしそう。

9 最終ワークショップ

(4) 提示したデザイン案 & 缶体コピー案

☆デザインA案 ※B案は割愛



☆缶体コピーA案

辛いこと、
楽しいこと、

苦いこと、
甘いこと、

泣いたこと、
笑ったこと、

すべての人生に。

☆缶体コピーB案

それは、

あなたと出会えたあの日のような、
魔法のように美しい空だった。

☆缶体コピーC案

【マジックアワー】

夕暮れ時に残光に照らされている時間帯。
世界が最も美しく見える瞬間とも言われている。

※ストーリーブックのストーリーの方向性も複数提示し、意見交換。

9 最終ワークショップ (5) デザインについて

☆当日の主な声

- ・自分以外の誰かのことを思い出し、自分も見つめ直せるデザインだと思うが、その点では、コピーのAは自分寄り、B・Cの方が誰かにつながるイメージ。最初はAがよいと思ったが、缶を見た時にBやCの方が自分の人生につながっていると思った。
- ・病室から見えた風景を思い出すし、外を見て気がつくことも多い。缶を見て、忘れていたことを思い出したような気がする。デザインはAの方が下から見上げた感じがあって好き。紺が入っていて、宵闇になっていく感じがよい。
- ・(デザインの) 空は見上げたい。コメントを見ていると、明け方も夕方マジックアワーととっているが、いろいろな人がいてよいし、どちらにも見えるデザインがよい。人によっても、その時のコンディションによっても違う。多様性や正解がないところを突き詰めたい。今回だけのHOPPIN'おじさんもすごくよい。メーカーがここまでやるのは普通はないし、じわじわ来ている。
- ・(チャット) 「世界が最も美しく見える時間」というのはとてもグッとくる言葉。じわじわ来ますね。
- ・言葉とデザインが一緒になってパワーを感じる。
- ・素敵。雲や色合いでいろいろな人の思いをどう表現するかがデザインに込められている。試飲した時を思い出しながら、皆さんの話を聴いていた。複雑さがあるからこそ、その人のタイミングで思うことも違うし、自分の気持ちが乗せられるデザインだと思う。コピーは個人的にはCがよいと思った。マジックアワーは人によって見え方が違い、想像の幅が広がる。
- ・素晴らしいデザイン。街の絵も、電気の点き具合で「いろいろな人がいるんだな」と思える瞬間の絵で、何をやっているのかと想像しながら人の存在を感じる時間帯。コピーをCにして、あえてその瞬間ということが手に取る人にとって感じやすいのでは。
- ・素敵の一言。最初は相当驚いた。ビールでこんな感じのデザインはない。試飲したら色の感じはグリーンかブルーとっていたが、ぴったりで、しみじみ飲める気がする。
- ・最初は女性向けのカクテルになるかと思ったが、ストーリーに落ちてくるとじわじわ来る。

(6) ストーリーブックについて

☆当日の主な声

- ・(チャット) 絵本の中にマジックアワーを見上げる描写があればどれもよい。
- ・わかりやすなのは2のアンコン。3の「人生は続く」もわかってほしい。夢があるのは1のグラスの話。
- ・HOPPIN' GARAGEのビールがずらりと並んだ時に今回は異色の缶だが、ストーリーが1であればアンサーになる。豊かさをマジックアワー缶で届けられれば嬉しい。

9 最終ワークショップ

(7) 終了後のアンケートの主な声

①最終ワークショップへの感想 1)

- ・素晴らしいワークショップに参加させていただき、感謝しております。大きな学び・気づき、心が豊かになる時間を過ごさせていただきました。本当にありがとうございました。味、ラベル、ストーリーブック等、これまでのディスカッションが見事に反映された内容だと思います。今回のワークショップでもコメントがありましたが、ストーリーブックにマジックアワーを見上げる描写、乾杯シーンがあると、私はとても良いのではと感じました。
- ・今日は、ホッピングレーズを飲みながら参加させていただきました！コロナのため、試飲会に参加できず、残念でしたが、イメージが膨らみ、とても楽しかったです！デザインを拝見したときは、素晴らしすぎて、感動しました！！
- ・このプロジェクトの凄さを改めて感じました。それぞれのストーリーをうかがいながら泣きそうで胸がいっぱいです。皆様のご尽力に頭が下がります。発売が待ち遠しく。。。会いたい人が目の前に現れて一緒に乾杯できることを楽しみに♪ありがとうございました。（今も泣きそう・・・）
- ・大企業の方々と、がん経験者の皆さんが繋がる場所があることに非常に驚きました。そして、がんに罹患してから感じた多くのことを、こんなにもしっかりと受け止めて形にしてくださるプロフェッショナルの方々の存在にとても感動しました。なかでも、絵本作家さんのコメント一つ一つがとても深くあまりに「ドンピシャ」で心に響きました。でもそれって伝えなければ伝わらないことだな。と自分に言い聞かせながら聞いていました。経験した人でなければ分からないと悲嘆するのではなく、世の中ともしっかりと関わって多くの事を共有したい。しかもできるだけ明るく。と皆様のおかげで実感しました。罹患してからと言うもの、不安や恐怖との戦い、周囲への感謝や喜び、こんなに振り幅の大きな時間を過ごしたことは無かったと思います。お酒、砂糖、添加物、小麦粉、お肉、など色んなものが怖くてストイックに断ち切ったり、極端に心が縮こまっていました。皆様のおかげでまたビールを飲みたい！と前向きな気持ちになれました。がんであっても無くても幸せを感じられるのがマジックアワーですよ。毎朝日の出をベランダから見て、この時ばかりは不安を忘れ、今日も生きて！と感謝します。明日からはあのパッケージも思い出しそう。この商品を手にとって味わえる日がとても楽しみです！
- ・ずっと参加したかったのですが予定が合わず、今回やっと叶いました。コロナ禍になってから、1番好きなビールが美味しいと感じられないことがほとんどです。コロナ前に、抗がん剤など点滴をしている時の方が美味しく感じていました。一緒に飲む相手がいたり、もっと明日に希望を持っていたからかなと思います。今、絶望しているわけではありませんが、なかなか気分が上がらないことが多いです。見た目から素敵で、ストーリーやメッセージがあらゆるところに込められている、このビールを飲めることを楽しみにしています。がん患者さんに限らず、広い世代の方が手に取られるのではないかと思います。首都圏だけでも、どの立場や世代も利用しやすいコンビニに置いてもらいたいです。そして、ぜひグラスも使ってもらいたいです。（でも、ポップンおじさんは控えめorなしをお願いします。）皆さんがおっしゃっていた、ビールの色合いが活かされる、ときめくグラスだとさらに嬉しいです！
- ・今回初めて参加させていただきましたがこういう意見交換がされて1つの製品が出来上がるんだと改めて分かり楽しめました
- ・参加された方々の思いと、ビールのコンセプトやデザイン、さらにはストーリーカードが、それぞれのお話の中で自然とつながり、わくわく感とともに一つの方向に収められていく過程を目の当たりにする、貴重な機会となりました。改めてお礼を申し上げます。
- ・お疲れさまでした。デザインと言いつコピーと言いつべてにワクワクドキドキしました。パステルカラーの缶が他のビールと並んでいたら「ん？これは何？」と必ず手に取るはず。そこで書かれているものを見てサバイバーもそうでない人も家族が、友達がサバイバーな人も一緒に闘って夢破れた友を思う人も心にきつと何か突き刺さって来るものがあると思います。毎回のワークショップで（前は参加できませんでしたが）見るだけでも一緒に作り上げている気分になり、とても楽しい時間でした。久しく会社生活から離れてこんな歳になって仲間と作り上げる喜びを思い出すことができたのもこの企画のおかげです。ありがとうございました。

9 最終ワークショップ (7) 終了後のアンケートの主な声

①最終ワークショップへの感想 2)

・今日のワークとっても良かったです！！缶のデザインを見てびっくりしました。どう表現していいかわからない私の想いのままだったからです！！桜井さんも仰ってましたけど、私も一月以上の不安と孤独な入院生活中の記憶は夕陽。黄昏。時に悲しく辛く、時に励まされた希望でした。そして、もうすぐ16歳になる愛犬との散歩の夕陽。先日、動物病院で「桜がみれるといいね。」と、言われました。今日も愛犬を抱っこしてきれいな夕陽をみました。まさに、あの缶。せつなくて、やさしくて、いろいろな想い。涙。サッポロビールの黄色い星??がまたいいですよ。素敵過ぎる！！おしゃれ。皆さんの言葉やお心が、あったかくて素敵で感動しました。ホッピンマークも細かいところまで、やさしく素敵！応援したい人、感謝してる人、先生にも贈りたいです。お酒飲めないんだけど、これは飲みます！皆んなで「であいに感謝！いのちに乾杯！」したいです！待ち遠しいです。心から楽しみにしています！素敵な企画に参加できてしあわせです。ありがとうございます。これからも楽しくよろしく願いいたします。

・とてもステキな場所に参加させていただき有難うございました！実は、ずっと興味があったのですが（ビール好きということもあり）、予定があわず、ようやく参加させていただけた時間でした。コピー案が読み上げられてゆくなかで、涙があふれてきましたし。絵本作家さんの構想や思いをきいても、色々なことを思ひだし、涙が……。すごく個人的なことになりますが、私に大きな影響を与えてくれた天国にいるお義母さまに、会いたいなあ〜とか思い出したりしつつ。とてもあたたかで、穏やかな夜となりました。苦み好きなので、ビールも楽しみです。どこで買えるのか？とかも知らなかったので、アナウンスくださりうれしかったです。広がってゆくといいですね。皆さんおひとりおひとりのコメントに気づきや学びがあり、がん経験者ではない立場の私ですが、今日は参加させていただき、あたたかな時間を有難うございました！

・Hoppin' Garageを定期購入しているので、8月に手に入るのがとても楽しみです。苦味が強いところに惹かれています。パッケージデザインを見たら、缶のままグビグビ飲みたい気分になりました。

・素敵なラベル、心に沁みるコピーでした。みなさんのコメントもよかったです。

・商品のストーリーブックが非常に興味深かったです。エピソード1なら、ぜひグラスとセットで。シンプルにわかりやすいエピソードが良いと思いました。ワーキャンズやビアプロジェクトの想いを多くの人に伝えたいです。

・本日は改めてありがとうございました。初参加でしたが、緊張することなく参加することができました。ワークショップの中で本日までに至るまで、いろいろな意見が交わされていたことがとてもわかりました。この商品が発売された際にはハイライトでもいいので、この打ち合わせの内容が商品とともに紹介されたいなと思いました。いろいろと制約はあるとは思いますが。。。キャッチコピーはどれもよかったです。缶のデザインを見たときにBかCがいいなと思いました。

・デザインやコピーを初めて見ることで、わくわくしました。

・参加メンバーの想いと、サッポロビール社の専門知識が融合して、素晴らしい製品が出来上がっていくプロセスそのものが、素敵で幸せに満ちたワークショップだと感銘を受けました。きっと、全ての関係者が、今回のワークショップは一生心に残るものとなり語り継がれていく事と思いますし、そう期待し応援したいと思います。

・今回のワークショップでは試作品の色・香り・味について皆さんのご意見を伺うことができ、とても参考になりました。また、試飲会参加者の評価点をそれぞれの立場毎に集計されていたのも興味深く拝見しました。缶デザインやキャッチコピー、ストーリーブック案もそれぞれに素敵で甲乙付けがたいと思いました。試飲会に参加させて頂き、味については納得のいく素晴らしい出来だと確認できました。あとはデザインなどのビジュアルと発売に向けてのプロモーション次第で販売数は非常に伸びるのではと思いました。

・初めての参加だったので、まずこれまでの過程で皆さんのディスカッションに込められた思いや狙いなど、ある程度固まったラインに追い付くことから、でした。自分の考えはその後、でしたので少し中途半端な気持ちで終わってしまった感じはあります。それでも、今回参加できたこと、思いは形にできること、病気の経験の有無は関係ないんだな、と画面越しに伝わって感動しました。

9 最終ワークショップ

(7) 終了後のアンケートの主な声

②発売へのメッセージ

- ・テーマが共生のこのBeer、多くの発信・呼びかけをしていきたいと考えています。『ラベルは病室から眺めた空を／もイメージしている』は、がんを経験していない方にはわからない、でもとても強いメッセージなので、どこかにこのエピソードを盛り込んで欲しいと思いました。発売まで、まだまだたくさんのお仕事があると思いますが、頑張ってください。発売を心待ちにしています！
- ・好きな時間、大切な時、ひとりでもふたりでも ビールで乾杯
- ・このような企画を立てていただき、心から感謝いたします。旅立った大切な仲間たちのことを想いながら、カンパイできる日を楽しみにしています！たくさんの想いのこもったサイコーのビールだと確信しています！！
- ・明日も、それぞれの場所で、あなたらしく笑えますように！！
- ・がんであっても無くても、一人でも大勢でも、みんなで乾杯しましょう！
- ・がん患者をはじめ、今息苦しく感じている人たち、あらゆる不安や恐怖を持つ方にも、心が落ち着く、胸が煌めくビールになるのではないかと思います。このビールを飲む時、心にふわっと大好きな人が浮かび、側にいるような時間になるといいなと思います。
- ・目には見えないコロナ禍にあって、同じように可視化しづらいアンコンシャスバイアスを、解きほぐしていくきっかけになるかもしれないビールが世の中に生まれる。微力ながら自分ができることを考えたいと思います。
- ・同じ「人間」というつながりで一緒に楽しもうよ。病気だからって障害があるからって特別なことは何もない。ちょっと先に行っちゃった友もきっと側にいてくれるはず。一緒に飲んであの頃の楽しかったことを思い出を語ろう。未来の自分たちへ乾杯！
- ・がんと診断を受けたことのある方も、[がんと診断を受けたことのない方も。身近にがん経験者がいる方も、いない方も。ストーリーブックをとおして、このビールにこめられた思いに耳を傾けながら、「乾杯！」というステキな時間をすごせたら！と。
- ・人生いろいろあるけれど、ビール飲めば、気分は上々。お互いの将来にCheers!
- ・あなたの大事な誰かを思い浮かべて楽しんでください。「がん」だけのことではないと思います。
- ・それぞれのいろんな想いに乾杯??
- ・このビールを飲んでいるときに自分以外の人のことを思うことができます。こ会いたい人のことを考える、対話することができる製品だと思います。その時に言葉に出せなかったこと、今だから言えることを伝えることができるのではないのでしょうか。ゆっくり時間をかけて楽しむことができます。
- ・がん経験者の小さな思い付きと発信から、多くのハンディキャッパーやマイノリティーが顔を上げ、その周りにいる全ての方々のエネルギーが、みんなの幸せを大きくする事を願います。このビールが対話に潤いを与え、豊かな心が世界に広がっていくことを夢みます。
- ・「癌サバイバー」というだけの共通項で集まった有志が、自由に意見を出し合い、こんなにも素晴らしい製品が作れたことをとても嬉しく思います。全く知らない人達でしたが一つの目標に向かって進んでいく過程で皆さんとの繋がりを感ずることが出来た素晴らしい体験をさせて頂きました。このビールのコンセプト、関わった全ての人々の想いが、癌だけでなく様々な病気に苦しんできた方、コロナ禍で辛い思いをされている方、何となく今は落ち込んでしまっている方に届き、ほんのちょっと明るい気分になるきっかけになったら嬉しく思います。
- ・私たちは人生という旅路の途中。たまにはこんなビールで一息ついて、また歩いていきましょう。

10 ワークショップのグラウンドルール（全参加者共通）

素晴らしいビールを、思いをつないでつくっていくために

- ①率直に 思ったことは遠慮せず
- ②楽しもう 肩肘張らず前向きに
- ③みな仲間 内輪はなしでオープンに

WorkCAN's Beer Project

☆注意！

がんなどの病気罹患後のアルコール摂取の可否については
主治医の判断に従ってください



ストップ！20歳未満飲酒・飲酒運転。妊娠中や授乳期の飲酒はやめましょう。
お酒は楽しく適量で。のんだあとはリサイクル。

私たちが思いをつなぎ、
一緒につくり上げてきたビールが
いよいよ発売です。
大切な人と一緒に、
あるいは、大切な人に思いを馳せながら、
そして、自分自身のこれまでとこれからの人生に、
乾杯しましょう。



☆公式サイトはこちら。予約受付中！

<https://www.hoppin-garage.com/product/thanks-cheers/>